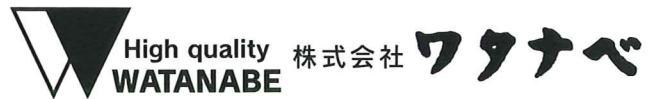


企業紹介

若い人材と巧みな技で モノ創りに取り組む



代表取締役社長 松井 宏伊
〒959-1273 燕市杉名941
TEL 0256-66-3071 FAX 0256-66-1749
<http://www.hq-watanabe.com/>

業 種：金属溶接、板金加工
資 本 金：3,000万円
事業内容：金属加工機械、半導体製造装置、食品・
医療関連装置等の精密板金加工

ステンレス材を主体とした各種精密板金加工で卓越した技術を持つ(株)ワタナベ。難易度の高い“一品もの”を中心に、機械に頼らない、人手による“匠”の技術や製品の完成度は、全国の幅広い業種にわたる企業から高い評価を得ている。

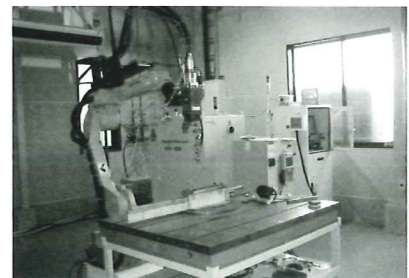
取引先からの投げかけを技術向上につなげる

同社は、機械装置の溶接加工業者として平成2年に旧分水町で創業。当初は機械の筐体の溶接が中心であったが、その技術力が評価され、精度が求められる部品加工の受注が徐々に増加。主力取引先からは特に高度な要求があり、同社もレーザー加工機の導入など様々な工夫を行い、要求に応えることで技術力の向上につなげてきた。

業容拡大のため、平成13年にはロボット仕様のYAGレーザー機を新潟県内で初めて導入。また、平成14年には工場新設を契機に、現在地燕市に本社を移転。さらにステンレス専用加工場を設置するなど、設計開発から板金加工・切断・曲げ・溶接・研磨・装置組立まで一貫生産体制を築いている。



▲燕市小池工業団地内にある本社・工場



▲業界初の導入ファイバーレーザー溶接機

ファイバーレーザー溶接機導入で異素材溶接を実現

同社の高い技術力のひとつに異素材溶接がある。異素材溶接とは、ステンレスと銅といった異なる材質の金属同士を、ハンダなどを使わず溶接により直接接合する技術。同社は平成20年に業界で初めて導入したファイバーレーザー溶接機により、この技術を実現した。

同社の異素材溶接を中心とした独自の技術力は、自動車部品・半導体製造装置・食品加工機・医療機器など様々な分野の展示会に出展しPRしたことで、数多くの企業が注目。同社も特定分野に特化せず、加えて複雑な形状の部品加工にも対応したことから、全国各地の企業との取引につながっていった。



▲同社の板金技術で製作されたPR用アート作品

平均年齢27歳の技術者集団

同社では若い人材への技術の伝承を基本方針に、松井社長自ら現場に立ち、平均年齢27歳と若い優秀なプロパー技術者の育成に注力してきた。機械に頼らない、人手による“匠”の技術は、難易度の高い“一品もの”の部品加工に活かされている。

現在、同社の技術を採り入れた製品需要の高まりを受け、第二工場を新設し生産能力の増強と効率化も進めている。これからも、今後を見据えた人材や設備への投資を積極的に行い、幅広い分野からのニーズに応える努力を続けていく。



▲太陽光パネルを設置し環境にも配慮した第二工場